

令和5年度第1回基山町まち・ひと・しごと創生推進会議

(要点筆記)

日 時：令和5年8月30日（水）午後3時00分～午後5時10分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：11人

尾石清孝 委員、原憲一 委員、日高紀子 委員、森田昌嗣 会長、
柴谷昌宏 委員（代理：松本孝之）、堀岡真也 委員（代理：北原秀樹）、
渡辺正司 委員、江口朋幸 委員、中富稔久 委員、田中光一 委員、
酒井英良 委員

欠席委員：3人

事務局：3人

企画政策課：亀山課長、原係長、村田主任

出席者：19人

松田町長	まちづくり課：井上課長、城本参事
総務課：平野課長	定住促進課：山田課長
財政課：吉田課長	建設課：今泉課長、酒井参事
住民課：毛利課長	教育学習課：古賀浩課長
健康増進課：藤田課長	税務課：古賀満課長
福祉課：戸井課長、松田参事	議会事務局：井上局長
こども課：山本課長、佐藤参事	出納室：寺崎会計管理者
産業振興課：大石課長	

傍聴者：2人

- 1 開会
- 2 基山町まち・ひと・しごと創生推進会議委員委嘱、任命
- 3 町長あいさつ
- 4 会長・副会長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び事業評価について
 - (2) 基山町デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定について
- 6 その他
- 7 閉会

1 開会

(事務局により開会。)

2 基山町まち・ひと・しごと創生推進会議委員委嘱、任命

(各委員に委嘱書を交付。)

3 町長あいさつ

本日は、お忙しい中、まち・ひと・しごと創生推進会議にご出席いただき感謝する。今回、まち・ひと・しごと創生総合戦略を見直さなければならないこととなっている。理由としては、まち・ひと・しごと創生総合戦略自体がもともと地方創生だが、デジタル庁ができて、デジタルの要素を総合戦略に上手く合体させるような内容にするよう国が見直しを行ったことに合わせて、基山町もできるだけ早くに見直しを行うものである。

まだ人口ビジョンの見直しはしていないが、人口ビジョンもかなり変わってきているので、今後、最新の状態に合わせた形で将来予測をやっていこうと思っている。

皆様のおかげで、総合戦略をやっていきながら、人口、町税、財政といった外形的な数字は上がってきているため、今後、さらにこの総合戦略をより良いものにしていながら、それに沿ってやることで基山町がさらに良くなるというようないい流れをつくっていきたい。そうすることによってこの総合戦略自体は、価値も上がっていくと強く信じている。

今日は、皆様の意見をぜひ聞かせていただきたいと思いますと思う。

4 会長・副会長あいさつ

(基山町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱第5条に基づき会長に森田昌嗣 委員、副会長に尾石清孝 委員を選出)

(森田会長あいさつ)

前期に引き続き、会長となるが、どうぞよろしく願います。基山町は人口の社会増が続いていることや、財政状況でも非常に良い状態。それも、このまち・ひと・しごと創生推進会議における議論が活かしている結果と思われる。引き続き議論をお願いする。

(尾石副会長あいさつ)

このまち・ひと・しごと創生推進会議というのは、現状行っている仕事をさらに発展させるようなことが掲げている。ぜひ、基山町のために有意義な会議になるようにやっていきたいと思うのでよろしく願います。

(会長が議長となり進行)

5 議題

(1) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び事業評価について (議長)

それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より【基本目標①基山町への新しい「しごと」の流れをつくる】について説明。)

(議長)

基本目標①について、御意見、御質問はあるか。

(委員)

トカイナカ産業振興プロジェクト④で説明があった、農業者グループに対する新たな商品開発に向けた試作品製作の支援、新規作物導入試験栽培などの取組の支援というのは町として具体的に何をしたのかお示しいただきたい。

(産業振興課長)

園部地区の農業者グループが地域で栽培している柿、マコモダケを使ったちらし寿司の素の商品開発を行ったものについて、試作品製作にかかった費用やパッケージのデザイン費用を補助した。

また、新規作物導入試験栽培については「かいよう病」に強いレモン、「璃の香」という品種のものを、山間地ということもあり、今後、有機農業や自然栽培など、環境保全型の農業を進めるにあたって、かいよう病に強くて農薬が少ないレモンを栽培して基山の特産品にできないかということで試験栽培を始めている。その苗代、そういったところを補助している。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

特に無いようなので、【基本目標①基山町への新しい「しごと」の流れをつくる】の2つのプロジェクトは、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか。

⇒承認

(議長)

それでは、【基本目標②基山町への新しい「ひと」の流れをつくる】について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より【基本目標②基山町への新しい「ひと」の流れをつくる】について説明。)

(議長)

基本目標②について、御意見、御質問はあるか。

(委員)

まちのにぎわい創出施設整備事業について、基山駅にコインロッカーを設置したとあ

るが、これはJRを利用された旅行客が手ぶらで観光できるようにということが目的か。

(産業振興課長)

はい。基山町に来られた方が、駅で荷物を置いて町を周遊できるようにと思い設置したものである。

(委員)

基山駅で降りられた方は、二次交通はどういったものを活用されているのか。

(産業振興課長)

町では、観光協会を通じてレンタルの電動自転車を配置しており、それを活用していただくか、タクシーをご利用いただく。

(委員)

コミュニティバスはあまり使われていないのか。

(産業振興課長)

コミュニティバスについては、日曜日は運行していないので、平日であれば利用されている方もいる。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

(委員)

交流人口と観光入込客数の実績値について、他の目標の実績と比べると低いように見受けられるが、今後これほどどのように進めていくのか。やはり「人の流れをつくる」となると、観光や交流人口というのは大事なのかな、というのがあって、集計の仕方を教えていただければ。

(事務局)

交流人口については、JRや甘木鉄道の乗降客数、高速基山のパークアンドライド利用者数、コミュニティバス利用者数、大興善寺や瀧光徳寺の参拝者、ふれあいフェスタ・きのくに祭りの参加者数から集計をしている。目標値について、基準値のおよそ倍に設定しているが、総合計画で交流人口の目標人口を500万人に設定していることから、総合戦略でも同じ設定となっており、高めの設定となっているが、コロナの影響で減ったところもあるため、徐々にまた増えていけばと考えている。

(町長)

コロナの影響を受けて、やっと回復してきたというところ。先日もKBCの「アサデス。」が「アサデス。ふぁーむ」という番組の中で、基山で有機野菜と米を使ったカレ

ーを作るというイベントをして、福岡県から1,000人ほど来られた。そんなふうに、また人が集まりだしたのでいい感じだと思う。

きのくに祭りも去年は5,000人だったのが今年は8,000人来られた。今回資料でお示ししているのは令和4年度の数字なので、令和5年度はかなりいい感じでこの数字が上がってきている。

元年度は結構多かったが、令和2年度、3年度で極端に減り、令和4年度で少し上がって、令和5年度は、目標値まではいかないかもしれないが、いい形で来ていると思う。

(産業振興課長)

観光入込客数について、目標15万人としており、コロナの影響もあって実績数は少ないが、大興善寺はもともと年間で約10万人は見込める観光スポットとなっていることと、これからの基山(きざん)振興により、この15万人は難しいけれども、徐々に達成できる数字であると思う。

(議長)

目標値そのものがコロナ前のものということで、その点の見直しも当然検討はできるのかなと思う。他に御意見、御質問はあるか。

(委員)

先ほどの質問に関連してだが、観光客の実数として出されている数字は、行政として取り組んだ行事に来られた観光客だけ把握されていると思うが、ホテルや観光農園の他、遺跡などマニアックと思われるような部分も最近注目されている。

行政の戦略として、そういったマニアックながらも、光を当てれば観光客が訪れるところについて、せめて案内表示をするなどの取組が必要ではないかと思う。これらについては総合戦略の評価には関係ないところかもしれないが、私が住んでいる地域で言うと、観光農園に来た方が道に迷って立ち往生されているようなケースもあったので、ぜひそういう小さなところについてもお願いをしたい。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

特に無いようなので、【基本目標②基山町への新しい「ひと」の流れをつくる】の3つのプロジェクトは、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか。

⇒承認

(議長)

それでは、【基本目標③結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり】について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より【基本目標③結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり】について

て説明。)

(議長)

基本目標③について、御意見、御質問はあるか。

(委員)

基山っ子すこやか成長支援事業で、こどもの医療費の自己負担無償化を実施したり、住宅環境整備プロジェクトの町営住宅整備検討事業でいろいろ補助金を創設した結果、資料8にあるファミリーサポート利用登録者数が目標値を超えていたり、4歳児の就学準備事業受診率がかなり目標値に近かったり、社会動態の人口増や町内住み替え人口の目標値を達成しているということか。

(事務局)

移住定住の施策や子育て支援の施策を幅広く行っている結果、K P I の実績値が高くなったと町の方では評価している。

(町長)

例えば最近の事例で行くと、基山町は移住体験住宅という2週間無料で泊まれる住宅を2つ持っている。基山町に住んで、例えば博多に通ってもらおうとか、買い物の便利さとか病院はどうかなどを試してもらおう。1カ所2週間までなので、2カ所利用すれば最大1カ月滞在できるが、先日北海道から1カ月利用で来られたご夫婦がいらっしゃって、実際に移住に繋がっている。年齢は少し上の方なので、子育てには繋がらないが、そういう様々な施策が連携して少しずつ効果が出てきているのではないかと思う。

また、資料には書いていないが、保育園の待機児童について、保育園も毎年園児が増えているが、待機児童ゼロとなっており、ギリギリのところでは拡充を繰り返して対応している。そういったところも評価されているのではないかと思う。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

(委員)

町長のあいさつにあった、「新規の戸建ても含めた世帯数が伸びない限り人口増は無い。」ということで、移住体験住宅にしても、駅前や高島団地の住宅街というところに、町は視点を置いた戦略なんだというように感じている。昨日、古民家を再生してそこに住む人の話をしていた。テレビで取り上げられていたのは、行政ではなく一個人がしているもの。

古民家を再生してこの家に住みたい、この地域に住みたい、この環境に住みたい、そういう視点での移住というのも一つの考えだと思う。自然が多いというのは基山町の魅力であるため、住宅街で空き家がたくさん出ているとは思いますが、中山間地でも空き家は増えつつあるので、そこに対して施策を行うのも一つの手ではないかと感じている。

(町長)

実は基山町の山間地の空き家を欲する町外の人はとても多いが、いざ、貸してくれ、売ってくれといった話になると上手くいかない。それをこれからどうしようかということで、現在対策を考えている。

他にも50戸連たんという施策を使えば、調整区域にも家が建てられるということで、今、1区・2区・4区・6区に説明をしたが、なかなか上手くいかない。最近鳥栖市の今町がやり始めたので、隣り合う7区に声をかけたら、やると言ってくれている。50戸連たんは、すごく基山町に向いていると思うので、協力していただければ。

(委員)

できれば協力させていただきたいとは思いますが、やはり我が家を守りたいというのがまだまだ根強い地域なので、いかに人の考え方を含めて地域の見方を変えていくのかというのは非常に難しい部分がある。できる部分から変えていくしかないなので、そこも地域の中で伝えていき、理解者を増やしていくしか手はないと思う。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

特に無いようなので、【基本目標③結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり】の3つのプロジェクトは、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか。

⇒承認

(議長)

それでは、【基本目標④安心と安全をベースにオール基山のまちづくり】について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より【基本目標④安心と安全をベースにオール基山のまちづくり】について説明。)

(議長)

基本目標④について、御意見、御質問はあるか。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

特に無いようなので、【基本目標④安心と安全をベースにオール基山のまちづくり】の2つのプロジェクトは、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか。

⇒承認

(議長)

それでは、【基本目標⑤基山力を活かした人材活用と人材育成のまちづくり】につい

て説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より【基本目標⑤基山力を活かした人材活用と人材育成のまちづくり】について説明。)

(議長)

基本目標⑤について、御意見、御質問はあるか。

(委員)

出前講座等参加者数と文化遺産ガイド対象者数について、実績値が年度ごとに極端に違うのは何か理由があるのか。

(事務局)

文化遺産ガイド対象者数については今回、団体からの申し込みが多かったため例年より多い人数となっている。

(町長)

ボランティアグループが令和4年度からとても活性化し始めていて、コロナも一段落したことやQRコードの案内板設置を令和4年度にしたことから、令和4年度がとにかく増えていて、おそらく5年度も増えると思う。

あとは例えば、少しずつ変わってきているのが、基山(きざん)に中型バスが上がっていけるように今はなっている。以前は中型バスもマイクロバスも上がれなかった。あとは、ボランティアの基肆語ろう会が特に一生懸命されているので、そういったことからだと思う。

(議長)

では、出前講座の参加者数の方は。

(教育学習課長)

出前講座の参加者数について、令和3年度が500人を超えているのは、学校単位で申し込みがあり、小学校の児童に講座を実施したため。

(町長)

小学校の大講堂に児童を集めて、役場職員が説明を行うものを何回か実施した。令和4年度は実施がなかったため、年度ごとに実績数値に開きがある。

あとは、先ほどの話にも合ったように、ボランティアガイドがたくさん頑張ってくれている。令和3年度にも勉強会みたいなことをしてくれていて多分その数字も入っている。それによってガイドの人たちの知見がどんどん上がって行って、令和4年度に開花したみたいな、そういう部分もあるのではないかと思う。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

(委員)

職場体験参加満足度について、これは中、高校生が基山の事業所や工場に伺っての職場体験という趣旨か。

(教育学習課長)

職場体験については中学生が基山町内の協力をいただける商店あるいは木工等の関係事業所などについて体験をするというもの。中には保育園などの公共の施設もある。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

特に無いようなので、【基本目標⑤基山力を活かした人材活用と人材育成のまちづくり】の2つのプロジェクトは、総合戦略のK P I 達成に有効であると評価してよいか。
⇒承認

(議長)

それでは、【基本目標⑥誰もが活躍できるユニバーサルなまちづくり】について説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より【基本目標⑥誰もが活躍できるユニバーサルなまちづくり】について説明。)

(議長)

基本目標⑥について、御意見、御質問はあるか。

(委員)

この資料にはないが、参考までに、女性が中心になって活躍する場などについて、力点を置いているというようなところがあれば伺いたい。

(まちづくり課長)

基山町では男女共同参画プランを策定しており、それに基づいて様々な審議会等の女性の参画について、参加率が増えるような取組を進めている。また、佐賀県と連携してセミナーや男性の理解を得るようなイベントの開催、各審議会等も行政の担当に女性の委員を増やしていただくようなお願いをするなどの取組みをしている。

今週も理系女子の推進を図るということで大学の事業で、主に中高生、特に中学生にこれからの進路に理系の選択肢をもつていただくようなセミナーを開催するようしており、国や県と連携しながらそういった取組を町内に広げているところ。

(町長)

最近の話題では、町議会議員の女性の割合が 38.5%で九州一といろいろなところで取り上げられた。役場の管理職も女性登用が非常に進んでいる。それ以外は、多世代交流センターという場所があるが、そこはほとんどが女性職員というような形になっている。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

(委員)

みんなの居場所と役割づくりプロジェクトについて、多世代交流センターでフードドライブにより必要な方へ提供されているということを知ったが、これは私でも寄附ができるのか、必要とされる方への提供は誰がしているのか。できれば町民の皆さんに広めていけば大きな活動になるのではと思う。

(福祉課長)

この多世代交流センター憩の家でのフードドライブと多世代食堂、どちらも社会福祉協議会の方で中心的に事業を行っており、個人で少ししかないものもぜひ、憩の家の方に直接お申し出をいただければありがたい。

当然、個人さんからのものもあるし、企業様からある程度の数量でいただく分もあるが、様々なことを工夫しながら、多世代食堂に利用させていただくか、必要な方におすそ分けできるような形で提供しているので、「少ないからこのくらいでは役に立たないよね。」ということではなく、ぜひそういったお声があれば情報提供いただきたいと思っている。

(町長)

メインでは社会福祉協議会で行っているが、本日、社会福祉協議会の事務局長が出席されているので少し補足していただければ。問題はやはり保管場所とか、このあたりの整理も少しずつ始めるので。

(委員)

つい昨日、お米をどうか、ということでもいただいたばかりなので、そういった形で教えていただくと非常に助かる。置き場所についても、ライオンズさんから寄附をいただき、棚を整備し、憩の家にストックする場所を準備するようになっている。

多世代食堂もだいたい 100 食というところで毎月しているが、実績としてはだいたい 120 から 130 食くらい毎月提供させていただいている。

フードドライブはまだ周知が徹底していない部分があるが、だいたい月に 10 件から 20 件近く、登録者があり、多世代食堂の折に、取りにみえる。取りに来られない方には社協の職員がお届けする形で対応しているが、そのような情報はなかなか外に出すことができないので、そういったところを気遣いながら事業をさせていただいているところ。

(委員)

佐賀市の方でフードバンクさがという団体があって、その活動に少し協力させていただいた経験からすると、やはり食品流通関係も東部地区が多いもので、3年ぐらい前、一般ではなくて企業さんから提供できる商品となるとトラック一台分になってしまうとか、そういうのをストックできるような空き家、空き倉庫などを無償で借りられるようなところがないかというような相談を受けていたが、そういう情報があれば、お知らせいただけたら、フードバンクさがの活動もより良くなるのではないかと思う。フードバンクさがとは社協が連携を取っていると思うが、ぜひ活用いただいて、あそこも倉庫を広げているが、消費期限が短いものが多いので、より活用されて、困っている方により広く提供できるような体制を、社協中心に作っていただければと思う。

(町長)

1点だけ補足させていただくと、基山には食品企業が伊藤ハムさんとかサンポー食品さんがあるが、今、コンプライアンスが大変らしく、消費期限が近くなったものをくださいといっても逆にくれず、きちんと消費期限まで期間があるものをくださる。極端な量、いわゆる処分するような感じではないので、手頃な量をいただいて、必要な人たちに配っているが、今後これをもう少し組織的に広げてやっていくことになるとうやはり場所の問題がどうしても出てくるので、そのあたりを考えていかないといけないかなと思う。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

特に無いようなので、【基本目標⑥誰もが活躍できるユニバーサルなまちづくり】の2つのプロジェクトは、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか。

⇒承認

(2) 基山町デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定について

(議長)

それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(事務局より基山町デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定について説明。)

(議長)

ただいまの事務局からの説明について、御意見、御質問はあるか。

(委員)

この会議が、人口を増やすためにはどうしたら良いのかを話し合う会であるならば、けやき台のことを考えなくてはならないということをおは会議の度に話している。人口動態の資料を配られたが、平成2年から4年にかけて、転入者が1,500人くらい増えて

いる。人口ももちろん増えたのだろうし、若基小の児童もどんどん増えた。それからどんどん減っている。今の鳥栖市弥生が丘地区の何十年か前の姿だと思う。

前回の会議でも行ったが、住宅環境整備プロジェクトの中でけやき台の人口が直近3、4年くらいでどれほど増減があったかということをお話してほしい。

また、けやき台の1,500世帯ほどある中で、二世帯同居をしたいという方が結構いると思う。ここには区長会長さんもいるので、私よりも詳しいかもしれないが、私のいるところの近所では「もう少し車の駐車場があったら息子たちと一緒に同居できるよね。」といった話を多々聞くことがある。

けやき台の中には小さな花壇がたくさんあり、交通事故防止の観点からもあまりよろしくないとは個人的に思っている。花壇を駐車場にして、月1,000円ほどで利用できるようにすれば徴収した費用を木の剪定などにも使えるし、子、孫のためにその駐車場を利用でき、二世帯同居が増えることで人口が増えるのではないだろうかという意見を前回は前々回も申し上げた。このことについて、前回の会議では町長懇談会の方でもそのような意見が出ていると聞いた。その後、新しい意見はあったのか。

(町長)

ポイントはいくつかあったと思うが、二つに整理してお話させていただく。けやき台が今後どうなっていくかというマクロ的な話と花壇の駐車場化の話。

まず、けやき台がこれからどうなっていくかという点、けやき台の20年先が高島団地だと私は思っている。だから高島団地がどうなっているのかを見れば、20年後けやき台がどうなるかというのは大体見えると思う。高島団地は今、若い人がどんどん入って、若い人と高齢者が交じり合うような形になっている。けやき台も若い人はだいぶ入ってきたが、まだそこまでいっていない。おそらく自然に任せると20年後にそうなる。

自然に任せるのも一つの方法だが、先ほど委員がおっしゃったように二世帯でうまくいく家も出てくる一方で、どんどん一人暮らしの高齢者になって空き家になって、それが市場に出て新しい人が入ってくるという過程を踏むのに大体20年かかるというのが今からの予定。けやき台は20年経てば黙っていても、ある程度若い街に様変わりするというのは、自信を持って予測ができる。

ただ、20年も待たなくてはならないのかと、一人暮らしの高齢者になって結構厳しい生活をしながら一人さみしく生活していかなければならないのは、おかしいのではないかということで、今考えているのは、高齢者専用の住宅、場合によっては介護ケア的な機能サービスもつくような高齢者専用住宅を街の真ん中に持ってきて、そこに現在、一戸建てに住んでいる方々で買い物や病院が大変だという方々で移転したいという人がいればどんどん移転していただいて、一戸建てを生活している間に若い人に引き継ぐという町内住み替え的なものをできないかという検討を始めた。

この考え方は、ずっと基山に住んでいる人からすると、田舎を捨てて、街中に出ていくなんでないといった発想だと思うが、けやき台や本桜の方とお話をすると賛成的な意見が多く、今その検討を始めたところ。これをするによって、自然にいけば20年かかるものが、5年とか10年で回っていくのではないかと思っているのでそういう戦略を含めて考えていきたい。

もう一つの花壇を駐車場にという話は、非常に多くの人から聞くが、それをけやき台の方に話すと、反対意見が出てくるので、まずはけやき台の中で結論を出してもらわなければならないということを話している。この場に区長会長がおられるので、本当に駐車場が必要な方と花壇を残したい方との話し合いをして、全部ではなく3分の1程度や、手入れが上手くいっていない花壇から変更していくという手もあるのではないかと思う。

(企画政策課長)

けやき台の人口推移ということで、直近3か年を手元の資料で計算したところ、大体基山町の人口が17,500人として、比率として20%の方がけやき台に住まれている。令和3年3月で3,680人、令和4年3月で3,588人ということで、昨年1年間で約100人減っている。令和5年3月で3,567人となっており、昨年と比べると21人減っているということで、いわゆる減少率は鈍化しているというように思っている。

ただ、高齢化率で見たところ、ここ数年でけやき台地区の高齢化率が急激に伸びている。これは、構造的にけやき台地区が団塊の世代が大量に平成元年前後に流入したということで、当然30年ほど経って、高齢化率が高くなるという予測ができたところであるが、特に15区が48.11%、17区が45.29%と40%後半に差し掛かっている。

また、高齢者の数も特に17区は562人であり、例えば9区が基山町内で一番人口が多いが、高齢者の数は487人ということで、人口の多い9区よりも17区の方が高齢者の数が多い。この辺は施策を打つ時にも、注視しながら人口対策を行っていきたい。

あとは住宅について、先ほど町長からもあったように、住み替えを「町内移住」という言葉を使いながら町内間で移住をしていただき、比較的便利が良いと言われる駅前に、高齢者世帯に移っていただき、空いた大きな家に福岡都市圏から若者世帯が入るといったようなイメージを持っていたが、なかなかそこが一気に進まないというのが現状。

ただ一方で、けやき台全体の空き家もそんなに多くはなく、市場に流通している空き家もすぐに買い手や借り手がつく。平成以降に造られた物件というのは比較的耐久性が高く、リフォームをすれば住めるということで、ものが出てくれば人が入るといった立地特性はあるので、そこは定住促進課の方でもしっかりとけやき台地区を移住の受け皿として考えている。

また、都市計画の面からすると、けやき台地区は第一種低層住居専用地域といっている。いわゆる閑静な住宅地、区画は広いがそんなに大きな家を建てられない地区というのがある。それに加えてけやき台地区はもともとの分譲の区画がそんなに広くない上に、世の中的には核家族化が進んでいるため、二世帯住宅はあまり期待できないところだが、駐車場が2台目、3台目が取れないといったところが移住の受け皿の課題としてある。中山間地という基山町の魅力があり、都市に近いということで通勤を見越した移住者の獲得というのもあるので、しっかりと移住、定住促進につなげていきたいと考えている。

先日の町長懇談会参加者の中に、基山駅前に18年ぶりにできたマンションにけやき台から移住したという高齢の方がいらっしゃった。多くはないと思うがそういった需要もあるため、中心部の方に高齢者の集合住宅等がこれから官民間問わず増えてくると、町内での移住という選択をされる方も増えてくるのではないかということで、引き続き基

山町のシティプロモーションを含めて、福岡都市圏への発信を強めていきたいと考えている。

(議長)

他に御意見、御質問はあるか。

(委員)

デジタルテレビについて、県道 17 号から下の方は映るのが当たり前だのように思っているだろうし、見る権利もあると思っていると思うが、基本的に言うと基山町民が見ているのは久留米局のものなので、福岡県のおこぼれを基山町民は見ているという認識を持った方が良くと思う。

先ほど、他の委員からけやき台の話が出たが、デジタルテレビを共同で運用されている、デジタルテレビをなかなか見ることができない地域というのが基山町の中にも相当数ある。1区2区で1団体、小松で1団体、4区にもある。6区の丸林地区が最近始められたという話を聞いて、けやき台を含めると基山の世帯の25%近くが共同テレビのケーブルで繋がっているテレビを見ているのだろうと思う。私は1区と2区で運用しているあおぞら共同テレビにお世話になりながらテレビを見させていただいているが、この施設がつくられて約28年経過している。そうすると中山間地の地域の行政運営が難しくなっているということと併せて、この共同テレビの運営の将来性も非常に危惧される状況になってきている。それは財政面と役員の担い手という人的なものが問題。

いろんな方が、テレビの映らないような地域には住んでくれないということで、いろいろ協力し合いながら共同整備を運営しているのが、けやき台以外の辺地共聴施設というが、山辺近辺にあるテレビを直接見ることができない難聴地域。ここの運営もぜひ、何らかの協力をしてもらえないか、というのが私の望みとしてある。

やはり災害時、避難準備などの情報はテレビを通して取得している。それからするとテレビが映らないということになれば、その災害の情報すら辺地の方には入ってこないということになるので、ぜひ安全面からも何とか運営が継続できる、安心してテレビを見ることができる環境を継続させるために行政として何らかの支援をお願いできないか。

まずは、現状、辺地での運営がどうなのかを把握するところからでも始めてもらいたい。

(町長)

けやき台のCATVは、けやき台の方から相談があったので、私が久留米のCATVと繋いで今の形になったが、あおぞらテレビやその他の地域での話は正直初めて聞いた。今の1軒あたりのコストが上がらない形で継続していくことを前提としていると思うが、けやき台は確か10年の約束で、ひと月1軒あたり500円で引き継いでもらったと聞いている。

まずは、辺地で共同テレビを運用されている方々の話を聞くところから始める。

(議長)

予定の時間を超えている。まだ意見があるという方がいると思うが、もう1回会議を開催すると事務局から話を聞いているので、今回の策定案について意見があれば事務局に伝えていただきたいと思います。

私から1点、観光と防災のところでSNSの活用やホームページの活用という指標が入っていないのが気になっている。普段から、SNS等で検索して基山町を訪れるといったケースが大半になっており、防災でのSNS対応というのも書いていただければと思う。

(議長)

本日予定していた議題をすべて解消することはできなかったが、引き続き意見をいただくということで、進行を事務局にお返しする。

5 閉会

(事務局により閉会。)

～午後5時10分閉会～